資料１－２

# 令和８年度葛飾区子育て・若者に関するアンケート調査結果概要

## １　調査概要

本調査は、「葛飾区子ども・若者総合計画」の進捗状況を確認するとともに、子育てに関するサービスの利用実態や潜在的ニーズ、将来の需要を把握し、今後の施策に向けた基礎資料とすることを目的に実施したもの

保護者 1,115 人（回収率：44.6%）、子ども 362 人（回収率：24.1%）、若者 397 人（回収率：26.5%）から回答を得た。

## ２　区の子育て環境と生活環境に対する総合評価

### （１）子育て環境について

保護者のアンケートにおいて、葛飾区の「安心して子育てができる環境について、葛飾区を総合的にどのように評価するか。」に対する肯定的な評価（「非常に良い」「良い」の合計）は 69.6%に達している。なお、前年度（68.4%）と比較すると 1.2 ポイント増加しており、区の支援策が全体として概ね支持されているといえる。

| 今回 | 前年度 | 増減 |
|---|---|---|
| 69.6% | 68.4% | ＋1.2pt |

### （２）生活環境について

区の生活環境に関する設問において、保護者と子どもでは、暮らしやすさと定住意向がともに高く、生活環境への評価は概ね良好である。一方、若者の回答は相対的に低い傾向となっている。

| 設問 | 集計区分 | 保護者 | 子ども | 若者 |
|---|---|---|---|---|
| 葛飾区は暮らしやすいまちだと思う<br>（保問 40／子問 20／若問 18） | 「そう思う」<br>「ややそう思う」 | 86.8% | 84.0% | 56.2% |
| 将来も葛飾区に住み続けたいと思う<br>（保問 41／子問 21／若問 19） | 「そう思う」<br>「ややそう思う」 | 78.0% | 75.7% | 57.2% |

## ３　子どもの権利に関する評価

子どもの権利に関する設問の回答はいずれも低い傾向となっており、葛飾区子どもの権利に関する区の事業についての周知啓発は引き続きの課題であるといえる。

一方、若者の回答は相対的に低い傾向となっている。

| 設問 | 集計区分 | 全体（四捨五入） | 内訳 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 保護者 | 子ども | 若者 |
| 「葛飾区子どもの権利条例」を知っているか。（保問 35／子問 13／若問 14） | 「条例があることも内容も知っている」「内容は知らないが、条例があることは知っている」 | 41% | 49.1% | 37.8% | 21.9% |
| 家庭や学校、地域などで、子どもの権利が守られていると思うか。（保問 36／子問 14／若問 15） | 「そう思う」「ややそう思う」 | 50% | 51.4% | 60.7% | 37.8% |
| 子どもの意見が、まちづくりや学校・地域の取組に生かされていると思うか。（保問 38／子問 16／若問 16） | 「そう思う」「ややそう思う」 | 20% | 16.6% | 39.0% | 13.6% |

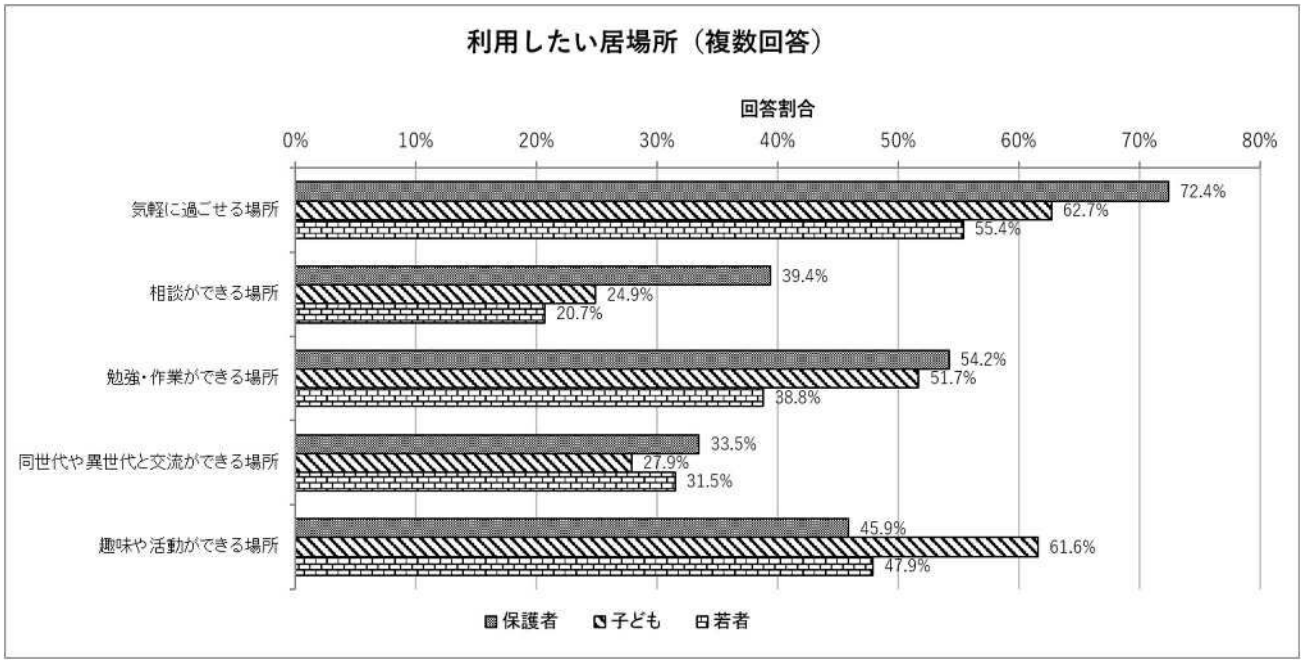
葛飾区子どもの権利条例の認知度別に「子どもの権利が守られている」と感じる割合を比較した。保護者・子ども・若者すべてで、条例や内容まで知っている層ほど、子どもの権利が守られていると感じる割合が高い。

| 設問 | 集計区分 | 葛飾区子ども権利条例の認知度別結果 | | |
|---|---|---|---|---|
| 家庭や学校、地域などで、子どもの権利が守られていると思うか。 | 「そう思う」「ややそう思う」 | 条例も内容も知っている | | |
| | | 保護者 | 子ども | 若者 |
| | | 74.2% | 78.6% | 73.7% |
| | | 条例は知って いるが、内容は知らない | | |
| | | 保護者 | 子ども | 若者 |
| | | 62.3% | 69.7% | 53.0% |
| | | 条例も内容も知らない | | |
| | | 保護者 | 子ども | 若者 |
| | | 40.3% | 55.1% | 32.4% |

## ４　あったら利用したいと思う居場所（保護者・子ども・若者比較）

あったら利用したいと思う居場所に関する設問において、保護者・子ども・若者いずれも「気軽に過ごせる場所」が最も高く、居場所へのニーズは世代を超えて共通している。

その他、子どもでは「趣味や活動ができる場所」「勉強や作業ができる場所」へのニーズが高く、若者では「交流できる場所」や「相談ができる場所」へのニーズがみられた。




## ５　保護者調査の主な結果

| 評価が高い項目（上位３項目） | 割合 | 評価が低い項目（下位３項目） | 割合 |
|---|---|---|---|
| **問 27**　子どもたちは、元気に、楽しく学校に通っている | 82.1% | **問 17**　障害のあるなしにかかわらず、子どもたちが共に交流できる場が充実している | 24.9% |
| **問１**　保育所などの保育施設が充実している | 77.2% | **問 23**　児童虐待防止への取り組みが充実している | 25.0% |
| **問２**　保育所などの保育時間が充実している | 74.3% | **問 26**　子育てを支援するための講座や自主サークル活動がしやすい環境が整っている | 25.7% |

※前掲の表で掲載した設問を除く

保護者調査における各設問のうち、「そう思う」「ややそう思う」を合算した割合が高い項目及び低い項目は、上表のとおりである。

子どもの学校生活や保育施設、保育時間に関する項目では７～８割が肯定的に回答しており、日常的な保育・教育環境は概ね良好に評価されている。特に保育施設や保育時間に関する評価が高いことから、これまでの保育基盤整備の成果がうかがえる。

一方で、障害の有無にかかわらず交流できる場、児童虐待防止への取組、子育て支援講座や自主サークル活動に関する回答は３割未満にとどまっている。保育や教育といった日常的に利用する施策に比べ、地域における交流や支援活動、困難を抱える子どもへの支援に関する取組は、身近な取組として認識されていない可能性がある。

６　子ども調査の主な結果

| 評価が高い項目（上位３項目） | 割合 | 評価が低い項目（下位３項目） | 割合 |
|---|---|---|---|
| **問９**　家庭や学校で、楽しく食事の時間を過ごせている | 87.6% | **問 17**　子どもたちで意見やアイデアを出すことができる取組に参加してみたいか | 36.4% |
| **問５**　元気に楽しく学校に通えている | 80.7% | **問４**　災害がおきたときに、自分たちが守られる環境が整っている | 50.2% |
| **問１**　周りの支えやいろいろな仕組みによって、自分らしく生活をおくることができている | 79.5% | **問２**　犯罪から守られるために地域の取組がされているか | 53.6% |

※前掲の表で掲載した設問を除く

子ども調査における各設問のうち、「そう思う」「ややそう思う」を合算した割合が高い項目及び低い項目は、上表のとおりである。

家庭での食事や学校生活、自分らしい生活に関する項目では約８割が肯定的に回答しており、子どもの日常生活や学校生活は概ね良好な状況にあることがうかがえる。

一方で、意見やアイデアを出す取組への参加意向は４割以下にとどまっている。また、災害時の安全確保や地域の防犯対策に関する回答も相対的に低く、子どもが主体的に参加することの意義や子どもが安心・安全に暮らせるための取組について、子どもに知ってもらう機会を引き続き設けていくことも一つの方向性として考えられる。

7　若者調査の主な結果

| 評価が高い項目（上位３項目） | 割合 | 評価が低い項目（下位３項目） | 割合 |
|---|---|---|---|
| 問 11　家庭や学校以外で、自分らしく安心して過ごせる居場所が身近にあると思う。 | 48.6% | 問４　結婚を希望する人にとって、出会いの機会はあると思う | 16.3% |
| 問２　妊婦や子育て家庭に対する経済的支援により、妊娠期や出産後の経済的負担が軽減されていると思う | 43.8% | 問 12　普段の生活の中で、地域とのつながりがあると感じる | 23.2% |
| 問１　妊活における経済的な支援により、希望する世帯が子どもを持つことができる環境が整ってきていると思う | 35.5% | 問３　男女問わず、妊娠・出産に関する正しい知識を得ることができる環境が整っている | 25.1% |
| | | 問９　様々な理由により不安や悩みがあるときに、安心して相談できる窓口があると思う | 25.1% |

※前掲の表で掲載した設問を除く
※問３と問９が同率のため、下位３位は４項目掲載。

若者調査における各設問のうち、「そう思う」「ややそう思う」を合算した割合が高い項目及び低い項目は、上表のとおりである。

妊娠・出産・子育てに関する経済的支援については、４割程度が肯定的に評価しており、若者層においても一定の評価がみられるが、肯定的な評価は半数には達しておらず、若者により実感してもらえるような取組を進めていくことも考えられる。

一方で、結婚を希望する人の出会いの機会や地域とのつながり、妊娠・出産に関する知識を得る環境、相談窓口に関する評価は相対的に低く、若者がこうした機会や支援について知り、必要に応じて利用につながるような取組を進めていくことも考えられる。

（参考）自由意見

1　基本方針別の件数

| 基本方針 | 件数 |
|---|---|
| 基本方針１ | 170 件 |
| 基本方針２ | 62 件 |
| 基本方針３ | 57 件 |
| 基本方針４ | 69 件 |
| 基本方針５ | 106 件 |

自由意見は 493 票から寄せられた。基本方針別では、基本方針１に関する意見が 170 件で最も多く、次いで基本方針５が 106 件となっている。

2　基本方針別　主な自由意見の傾向

基本方針１

若者や子育て家庭が、安心して子どもを産み育てられるよう支援します

| 項目（件数の多い順、上位３項目） | 主な意見 |
|---|---|
| **保育園（25 件）** | ・保育料の無償化による経済的負担の軽減や、産休中も上の子を継続して預けられることを評価する意見がみられた。<br>・入園の難しさや地域による施設不足、入所選考の基準への意見がみられた。また、土曜・延長保育や産前産後の保育時間の見直し、保育士の確保、園庭等の環境改善を求める意見がみられた。 |
| **学童保育クラブ（24 件）** | ・子どもの放課後の居場所として必要との意見がみられた。<br>・定員等により利用できないことや、中学年以降の利用への不安を述べる意見がみられた。受入枠の拡充、長期休業中の開所時刻の繰上げ、利用条件の見直し、昼食提供や運動環境の確保等を求める意見がみられた。 |
| **子育て家庭等家事サポーター派遣事業（13 件）** | ・食事作りや掃除等の家事支援が日々の生活の支えとして評価する意見がみられた。無償化や利用期間の延長への評価もみられた。<br>・予約やマッチングができず、必要な時に利用できないとの意見がみられた。事業者の増加や対象年齢の引上げ、多子世帯への配慮等を求める意見がみられた。 |

基本方針２

就学後の子どもや若者の健やかな成長を支援します

| 項目（件数の多い順、上位３項目） | 主な意見 |
|---|---|
| **学校施設・教育環境（25 件）** | ・小学校での民間施設を活用した水泳授業について、習熟度に応じた指導や天候等に左右されない点を評価する意見がみられた。<br>・トイレ等の設備改善や教職員体制の充実、中学校における屋内での水泳授業等を求める意見がみられた。早朝の受入れ、ＰＴＡ・登校当番等の保護者負担の見直し、暑さを踏まえた行事の見直しへの要望もみられた。 |
| **学校教育・学力向上（15 件）** | ・習熟度別授業や学校で検定を受けられること、チャレンジプログラムの対象学年拡大を評価する意見がみられた。<br>・基礎学力・学習習慣の定着、英語教育や学習機会の充実を求める意見がみられた。宿題から自主学習への移行による家庭負担や学習格差への懸念、タブレットの使用や葛飾教育の日への意見もみられた。 |
| **不登校・いじめ・相談支援（９件）** | ・フリースクール利用への助成を評価する意見がみられた。<br>・不登校の子どもの居場所や支援情報の提供・集約、進学等に係る経済的支援を求める意見がみられた。いじめ等への学校の対応や、学校内で問題が発生した場合における区から学校への指導を求める意見もみられた。 |

基本方針３

困難な状況にある子ども・若者や家庭を支援します

| 項目（件数の多い順、上位３項目） | 主な意見 |
|---|---|
| **子育て・教育に係る経済的支援（20 件）** | ・自転車購入、保育料、副教材費や宿泊行事費等への補助・無償化が、経済的負担を軽減するものとして評価する意見がみられた。<br>・入学準備費、制服代や大学進学費用、小学生以降の子育て費用への支援を求める意見がみられた。 |
| **発達・障害のある子ども・若者への支援（17 件）** | ・放課後等デイサービスで子どもに合った活動ができ、成長につながっている点を評価する意見がみられた。<br>・学校を卒業した後の居場所の充実、相談後の具体的な支援について求める意見がみられた。 |

| 項目（件数の多い順、上位３項目） | 主な意見 |
| --- | --- |
| **学校給食費の完全無償化（12 件）** | ・給食費の無償化による家計負担の軽減や、家庭の事情によらず子どもが給食を食べられることを評価する意見がみられた。<br>・給食の量・内容や、物価上昇に伴う予算への不安を述べる意見がみられた。無償化にこだわらず、有料でも質と量を充実させてほしいとの意見がみられた。 |

基本方針４

子ども・若者の安全を守り、安心して過ごせる環境を整えます

| 項目（件数の多い順、上位３項目） | 主な意見 |
| --- | --- |
| **防犯・見守り・治安（27 件）** | ・地域の見守り活動や防犯活動を評価する意見がみられた。<br>・治安や子どもだけでの外出への不安が寄せられ、見回りの強化、街灯の改善、防犯カメラ等を求める意見がみられた。路上喫煙やごみ、民泊等に伴う騒音への対応を求める意見もみられた。 |
| **交通安全・道路環境（16 件）** | ・駅周辺の道路整備や生活環境が整っているとの評価がみられた。<br>・十字路へのカーブミラーの設置や、歩行者・自転車が安全に通行できる道路環境を求める意見がみられた。自転車の交通ルールの遵守、ヘルメット着用の促進等への要望もみられた。 |
| **公園・公共施設の安全・衛生（14 件）** | ・公園のトイレの汚れやごみ、たばこの吸い殻、犬のふん尿等が指摘され、清掃・巡回や利用マナーへの注意喚起を求める意見がみられた。不審者や暗い照明への不安、閉園前の利用制限への意見もみられた。 |

基本方針５

子ども・若者の成長を地域全体で支える環境を整えます

| 項目（件数の多い順、上位３項目） | 主な意見 |
|---|---|
| **地域の身近な公園の整備（43件）** | ・公園の多さ、清潔さを評価する意見がみられた。<br>・ボール遊びができる場所の確保や利用制限の見直し、公園・遊具の充実を求める意見がみられた。屋根・ミスト等の暑さ対策や水遊び場の充実への要望もみられた。 |
| **子ども・若者の居場所（41 件）** | ・カナマチぷらっと、図書館等が、遊びや学習等の場として評価する意見がみられた。<br>・猛暑時も体を動かせる屋内施設や、小学校高学年・中高生が自由に過ごせる居場所を求める意見がみられた。学習ができる場所、学校施設の開放、身近な地域で利用できる施設への要望もみられた。 |
| **放課後子ども事業（わくわくチャレンジ広場）（12 件）** | ・わくわくチャレンジ広場の取組が充実し、日々の生活に役立っていると評価する意見がみられた。子どもが楽しそうに過ごし、保護者も安心して学校に送り出せるとの意見がみられた。<br>・夏休み等の長期休業中や朝の実施、学校による対象学年・開設時間の違いの解消を求める意見がみられた。 |